

不祥事ゼロに向けた取組【一人一人が「自分事として考える」】R.6.7.24

(文責 大子町立だいご小学校長 清水 洋太郎)

学校は児童生徒にとって多くのことを学ぶ大切な場所です。そのため、児童にとって安全・安心な場所ではなくてはなりません。私たち教職員は、教育活動は、児童生徒や保護者、地域の皆様の信頼のもと成り立つものと考えています。

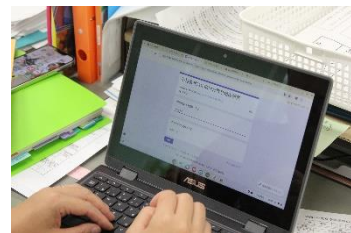
しかし、日々の報道でもあるように教職員の不祥事が続いています。本校では、このことを他山の石とせず、すべての教職員が、不祥事を自分事としてとらえ、自分の行動が教育全体に影響することを強く意識し、不祥事ゼロに向けて、行動していきます。

1 令和6年度コンプライアンス研修年間計画

月日	実施計画	
	取組内容	企画・担当
4月19日	○学校運営規定の確認 勤務について	教頭
4月19日	○アレルギー疾患対応等について	養護・栄養
5月24日	○教育公務員としての服務規律	教頭
6月21日	○懲戒と体罰	低学年
7月23日	○教職員により盗撮等の根絶に向けた研修	教頭
7月24日	○教員と保護者との信頼関係づくり	中学年

8月7日	○特別な支援が必要な児童への適切な対応	特別支援
9月27日	個人情報管理について	高学年
10月25日	メンタルヘルスについて	保主・養護
11月29日	学校徴収金の扱いについて	事務
12月20日	わいせつ行為について	若手教員
1月31日	人権教育について	人権担当
2月16日	飲酒運転の撲滅	幹事
3月14日	教育公務員としての自覚について	校長

2 教職員による不祥事根絶についての研修の様子



3 研修資料

One IBARAKI 第15号

⇒URL <https://drive.google.com/file/d/1kY7MYtJQ3hfnlcMcDXb8C-EMdRrPKk-N/view>

4 教職員の意見等

- ・ストレスをためないようにしたい。お互いに明るく何でも話し合える職場にする。
- ・学校全体で話し合うことで、職務に対する意識がさらに深まった。
- ・ストレスをためないように、自分にとっての大切なものを考え、また、リフレッシュできる大事なものを考え行動する。1人で抱え込まずに話し合える職場環境づくり。
- ・想像力も大切。その後を考えて行動する。自分の守る大切なものを考え行動する。
- ・すばらしいだいご小学校がいつまでも続くように、想像力を大切に、みんなで勤務していきたい。

5 対策内容

- ・整理整頓をして、盗撮ができない環境をつくる。・必要のないものは置かない。・いつもの様子と違うことに気づく。・私物のカメラを使うときは、ブロックの先生と確認する。・仕事のストレスをためない。・何でも話ができる職場の雰囲気づくり。・想像力「これをやったらどうなるか」を考える。
- ・条例や法改正に対する関心を高め、情報共有をしていく。